

昭和61年度

## 研修・研究事業の概要

はじめに

福島県教育センターについて、本年度より改正した組織の概要と昭和六十一年度の研修・研究事業の概要を紹介します。

経営研究部を改称し、研究事業の全体的な企画・調整を行い、学校経営および教育研究に関する業務の一層の深化と推進ができるようしました。

講師や助言者も、県の内外にわたり幅広く人選し、講座内容の充実を図っています。

## (二) 学習指導部

当教育センターでは、「未来をひらく心豊かなたくましい人間」の育成をめざして、教育関係職員の研修、教育に関する専門的・技術的事項の調査研究、情報処理教育、教育相談、教育図書資料の作成・収集・活用の業務を推進し、本県教育の振興充実に努めています。

本年度は、県教育委員会の重点施策をふまえ、次の四点を努力事項として具現を図ることとしました。

## (一) 先導的研究の推進

## (二) 研究と研修の一体化をめざした教職員研修講座の内容充実

## (三) 自己教育力を援助する教育相談の推進

## (四) 教育情報の収集・整理・提供の推進

## 二、研修事業について

生徒指導・教育相談に関する研究・研修業務の係を新設し、教育相談への対応を一層充実強化しました。

## (四) 教育相談部

## 一、組織機構の改正について

児童生徒の現代状況に対応するため、業務内容を整理統合し、特に教育研究と教育相談に関する業務の推進を考慮して、次のように改正しました。

## (一) 学校経営部

また、各講座の形態は、研修内容に

| ○学校種別研修講座数 | ●講座数 | ●開設回数 | 合計  |     |      |
|------------|------|-------|-----|-----|------|
|            |      |       | 小学校 | 中学校 | 高等学校 |
| 小中高共通      | 八講座  | 一八回   |     |     |      |
| 中学校        | 一五講座 | 三〇回   |     |     |      |
| 高等学校       | 二四講座 | 二六回   |     |     |      |
| 合計         | 六三講座 | 一〇〇回  |     |     |      |

  

| ○学校種別研修人員 | ●定員  | ●延員  | 合計  |     |      |
|-----------|------|------|-----|-----|------|
|           |      |      | 小学校 | 中学校 | 高等学校 |
| 小学校       | 六六三人 | 七七九人 |     |     |      |
| 中学校       | 五四七人 | 七三二人 |     |     |      |
| 高等学校      | 四八一人 | 五七四人 |     |     |      |
| 合計        | 二〇〇人 | 二七人  |     |     |      |

  

| ○研修講座開催期間と開催日数 | 講座開始日      |            | 講座終了日      |            | ○講座開催日数 |
|----------------|------------|------------|------------|------------|---------|
|                | 講座開始日      | 講座終了日      | 講座終了日      | 講座終了日      |         |
|                | 昭和六十一年六月二日 | 昭和六十一年六月二日 | 昭和六十一年六月二日 | 昭和六十一年六月二日 |         |
|                |            |            | 一〇七日       | 一〇七日       |         |

## (二) 研修内容

詳細は、「昭和六十一年度福島県教育センター研修事業計画」を参照していただきたいが、本年度研修内容の主な特色は次のとおりです。

生徒指導の充実に資するため、学校教育の今日的課題の一つであるカウンセリングについて、「教育相談講座」子どもの理解と対応」の講義・演習